

## 令和6年度第1回小平市防災会議要録

- 1 開催日時  
令和6年8月1日（木）午後2時00分から午後3時00分まで
- 2 場所  
小平市役所 6階大会議室
- 3 出席状況（会長除く。）  
委員数33人（出席者29人（代理者含む。）、欠席者3人）
- 4 議題  
議案第1号 令和6年度小平市総合防災訓練の実施について
- 5 報告  
小平市地域防災計画（令和7年修正）について
- 6 その他
  - (1) 令和5年度から令和6年度にかけて締結した災害協定等について
  - (2) NTT東日本株式会社の防災対策の取組について

- 7 傍聴人  
1名

### 8 会議内容

#### ○開会挨拶

##### 【司会（防災危機管理課長）】

本日は、ご多用のところ、ご出席を賜りまして、誠にありがとうございます。

ただいまから、令和6年度第1回小平市防災会議を開会させていただきます。

本日の会議の司会を務めさせていただきます防災危機管理課長の関口でございます。よろしくお願いたします。

恐縮ではございますが、これより着座にて、進行させていただきます。

それでは、会議の開催にあたり、配布資料の確認をさせていただきます。

1つ目は、「令和6年度 第1回小平市防災会議 次第」でございます。

2つ目は、「防災会議 席次表」でございます。

3つ目は、「令和6年度 第1回小平市防災会議 出欠表」でございます。

4つ目は、第1号議案「令和6年度総合防災訓練の実施について」に係る資料でござ

います。クリップで一まとめにしているもので、

「資料1 令和4年度小平市総合防災訓練実績」

「資料2 令和6年度小平市総合防災訓練実施要綱（案）」

「資料3 訓練進行表（案）」

「資料4 訓練配置図（案）」

「資料5 体育館内配置図（案）」

「資料6 小平市総合防災訓練 実施年表」でございます。

最後に、「資料7 小平市地域防災計画（令和7年修正）について」に係る資料でございます

なお、これとは別に、NTT東日本様のカラー刷りの資料を別に1枚お配りさせていただいております。

配付資料は以上ですが、不足等ございませんでしょうか。

本日の会議でございますが、開催状況の記録を残すために、録音をさせていただきます。

それでは次第に従いまして、進行させていただきます。

次第2、「会長挨拶」でございます。小林市長からご挨拶を申し上げます。

## ○会長挨拶

### 【会長（市長）】

皆さん、こんにちは。

本日はお忙しいところ、また、大変暑い中、令和6年度第1回小平市防災会議にご出席を賜りまして、誠にありがとうございます。

また、日頃より防災行政をはじめ小平市政全般に対しまして、ご協力をいただいておりますこと、この場を借りて感謝申し上げます。本当にありがとうございます。

本日は「1日」ということで、能登半島地震から7か月ということでございます。

こうした日に小平市防災会議が開催されるということは、感慨深いものがあります。ぜひ皆様から積極的な意見をいただいて、実のある会議にしていければと思っております。

さて、本日の議題にあります小平市総合防災訓練は、毎年、各機関の皆さまからのご協力をいただきまして、連携を確認するとともに、市民の皆さまの「自分の身は自分で守る。自分たちのまちは自分たちが守る。」という、自助・共助の理念に基づく防災意識の高揚を図ることを目的に実施しております。昨年度は、災害対策本部の対応力強化を目的としまして、災害対策本部図上訓練を実施させていただきましたが、今年度につきましては、市民参加型の総合防災訓練を開催し、各機関の皆さまとの連携訓練や、市民の皆さまを中心とした避難所設営訓練を実施させていただきます。

また、報告にあります小平市地域防災計画は、災害対策基本法に基づき、市民の生命、身体及び財産を災害から守ることを目的に小平市防災会議が策定するものでございます。

令和4年東京都防災会議が10年ぶりに首都直下地震等による東京の被害想定を見直しました。そして、昨年5月に東京都地域防災計画（震災編）の見直しが行われたところでございます。

これを踏まえまして、小平市地域防災計画の見直しを行うものでございます。

本日は、小平市総合防災訓練の内容について、ご審議いただきますとともに、最後には情報共有の時間を設けたいと思いますので、ぜひ積極的にご発言をいただければと思います。

それでは本日の会議、よろしくお願いいたします。

#### 【司会（防災危機管理課長）】

ありがとうございました。

次に、次第3「委員の委嘱について」でございます。

防災会議委員をお願いしております各機関の人事異動がございました関係で、委員の方が変わっております。

新たに委員をお願いいたしました方々の委嘱状の交付につきましては、先般送付させていただいたとおりでございます。よろしくお願いいたします。

次に、本日お集まりの皆様全員に自己紹介をお願いしたいと存じます。大変恐縮ではございますが、機関名とお名前のご紹介をお願いいたします。

では、東京都多摩小平保健所長様より、よろしくお願いいたします。

（各委員による自己紹介）

ありがとうございました。

それでは、次第に従いまして防災会議を進めさせていただきます。

次に次第4「議題」でございますが、防災会議運営規程に基づき、会議の議事は、会長が主宰することとなっております。議事の進行につきましては、会長であります小林市長にお願いいたします。

#### ○議題

##### 【会長（市長）】

それでは、議題に入ります前に、本日傍聴希望者が1名おります。本会議は公開を原則としておりますので御了承いたします。よろしいでしょうか。

（委員了承）

（傍聴者入場）

議事に入ります。

議案第1号「令和6年度小平市総合防災訓練の実施について」を議題といたします。事務局の説明を求めます。

【事務局（防災危機管理担当係長）】

防災危機管理課の宮川と申します。よろしく申し上げます。

それでは、議案第1号「令和6年度小平市総合防災訓練の実施について」を説明させていただきます。大変恐縮ですが、着座にて説明させていただきます。

お手元にお配りいたしました資料に沿って行わせていただきます。

まずはじめに、資料1の令和4年度小平市総合防災訓練実績をご覧ください。

本来は、前年度である令和5年度の訓練実績をお示しするところですが、令和5年度につきましては、市職員による災害対策本部図上訓練を実施しており、今年度実施を予定している総合防災訓練の内容とは様相が異なるため、直近でかつ同様の形態で実施された令和4年度の総合防災訓練を例としてお示しさせていただきます。

令和4年度は、小平市立小平第十四小学校を会場にして訓練を実施いたしました。訓練は、多摩直下型地震が発生した状況を想定として実施され、市民参加型の総合防災訓練は3年ぶりの開催となりました。

特徴としては、将来の地域防災の担い手としての役割を担う児童たちの防災意識の向上を目指すことを目的の一つとし、第十四小学校の学校公開日と同時に実施いたしました。

当日は天候に恵まれたことや、小学校の学校公開とあわせて実施したことから、保護者の参加者も多く、大変好評でありました。

内容としましては、各防災機関による災害対応訓練や、自治会、自主防災組織の方々など、避難所の設営に実際に携わる方々を中心とした避難所設営訓練などを実施するとともに、学校公開に合わせて防災授業を実施し、児童が当訓練に参加することができ、防災教育の積極的な支援を行うことができました。

令和4年度小平市総合防災訓練実績につきましては、以上となります。

続きまして、資料2の令和6年度小平市総合防災訓練実施要綱(案)をご覧ください。

資料に沿って、要点のみを説明させていただきます。

小平市総合防災訓練実施要綱につきましては、例年、国の中央防災会議において決定される総合防災訓練大綱や、東京都が作成する東京都総合防災訓練実施要綱の内容を踏まえて策定しております。

第1の小平市総合防災訓練実施要綱の意義でございますが、災害から市民の生命及び財産を守るためには、小平市及び防災関係機関が一体となり、防災体制を整備していくとともに、「自らの身の安全は自らが守る。自分たちのまちは自分たちで守る。」という自助・共助の理念に基づく市民の行動、これを救援する公助としての行政及び防災関係機関の連携が不可欠であり、防災訓練を通じて災害対応能力を検証し、防災体制強化に反映させていくことが必要です。

こうした趣旨から、小平市では、災害対策基本法、小平市地域防災計画等に基づき、本年度の総合防災訓練を実施いたします。

次に、第2の総合防災訓練の目的でございますが、1つ目としましては、東日本大震災や熊本地震をはじめとする過去の災害によって明らかになった防災上の課題に対応

した実践的な内容とし、災害対応能力の向上を図ります。

2つ目としましては、市民一人一人が「自らの命は自らが守る」という自助の意識と、「自らが何をすべきなのか」という日ごろからの備えに対する意識の高揚を図るとともに、防災に関する知識を得られる機会とすることです。

3つ目としましては、市と防災機関はもとより、市と災害時応援協定を締結している事業所との連携、協力など、組織体制の機能を確認するとともに、その実効性について検証を実施して、各機関相互協力の円滑化を図ることです。

以上、3項目を目的といたします。

次に、第3の総合防災訓練の基本方針でございますが、

1つ目としましては、切迫性の高まっている多摩直下を震源とする地震に備え、地震を想定した実践的な訓練を実施いたします。

2つ目としましては、避難所開設準備委員会、自治会及び自主防災組織を中心とした避難所運営訓練を実施いたします。

3つ目としましては、将来の防災の担い手となる子どもたちに、防災教育を実施します。

以上、3項目を基本方針といたします。

次に、第4の訓練の実施日時及び実施場所でございますが、実施日時は、令和6年10月6日（日曜日）午前9時から正午まで、実施場所は、小平市立小平第三中学校を予定しています。

本訓練では、訓練実施要綱（案）の第3の3「将来の地域防災の担い手としての役割を担う子供たちの防災教育を積極的に支援する」のとおり、防災教育の積極支援を目的としていることから、小平第三中学校の学校公開日と同日に実施いたします。生徒の参加予定人数は、1年生7クラス、約220名でございます。

なお、令和4年度の訓練と異なる点についてですが、令和4年度は、体育館では感染症予防対策を踏まえた避難所運営訓練を体育館全体で実施、校庭では市民向けに行っていた体験型訓練を、訓練参加生徒の防災教育の一部として実施するなど、感染予防対策、過密防止対策を踏まえた内容とし、市民の方々の訓練への参加を制限していました。今年度につきましては、市民の皆様の防災意識の高揚と、コロナ禍を経て低減した防災訓練への参加意欲に対する働きかけを目的として、会場全体で、防災グッズや普及啓発に係るパネル展示の展示、防災機関及び連携事業者による車両展示、起震車などの体験型車両の配置を行う予定です。

次に第5の訓練項目及び実施内容及び第6の総合防災訓練参加機関でございますが、こちらは2枚目の別表1及び裏面の別表2のとおりとなります。

次に、第7の訓練の中止等でございますが、訓練当日に災害が発生した場合又は発生するおそれがある場合は、訓練を中止させていただきます。

なお、基本的には、多少の雨であれば訓練は可能な限り実施いたしますが、学校の校庭が使用できなくなりますので、訓練会場を体育館及びその周辺のみとし、時間も午前9時から午前11時まで短縮して実施することといたします。

以上が、「令和6年度小平市総合防災訓練実施要綱（案）」の説明でございます。

次に、資料3「訓練進行表（案）」をご覧ください。機関ごとの訓練内容を、時間別に整理し掲載しております。こちらについては実施内容等調整中の部分もありますが、各機関と調整の上、確定させていく予定です。

続きまして、総合防災訓練の具体的な内容につきまして、説明いたします。

資料4、「訓練配置図（案）」をご覧ください。

こちらは、訓練会場の小平第三中学校の訓練スペースをお示しした（案）でございます。全体の配置としましては、資料の中心より上側が校舎、下側が校庭、右側中央が体育館となっております。それでは、配置図の上部を「北」として、上から順番に説明させていただきます。

では、まず資料の中心から南側、校庭部分をご覧ください。

まず、中央トラック内には、煙体験や初期消火訓練、AED取扱い訓練や包帯法など、市民が体験できる体験訓練コーナーを設置します。このコーナーはおおむね10時30分ごろには撤収し、11時から同じ場所で、消防演習及びトリアージ訓練を実施する予定です。

また、トラック上では、9時から緊急物資搬送訓練を実施します。緊急物資搬送訓練は概ね9時15分ごろまで実施し、その後、10時30分までトラック上での訓練はなく、概ね10時40分からし尿搬送訓練、道路啓開訓練、上水道応急復旧訓練をトラック上で行います。

し尿搬送訓練につきましては、校庭の北側部分（校舎管理棟の左）のマンホールトイレ設置訓練位置で、仮想のし尿搬出を行っていただく予定でございます。

なお、それぞれの訓練車両は、学校の北側、資料上部の道路（東たかの道）から正門校庭出入口より敷地内に入場いただき、トラック内の出場位置で待機していただき、訓練の実施順に出場していただきます。

次に中央トラックの東側をご覧ください。こちらでは、上から順に災害ボランティアセンター設置訓練、トヨタ給電車、DMATカーなどの車両展示を行います。さらに、テントを設置して、ご参加いただく各機関の展示ブースをご用意させていただく予定です。

中央トラックの南東側では、アマチュア無線クラブによる通信訓練を、南西側では、陸上自衛隊及び小平市スカウト協議会によるカレーライスの炊き出し訓練を行う予定です。

次に、中央トラック西側をご覧ください。こちらでは、ペット避難所の展示、ポンプ車や警察車両などの展示を予定しています。

また、中央トラック北側にはまちかど防災訓練車も配置する予定でございます。

次に、資料中央東側、体育館の上部をご覧ください。こちらでは、マンホールトイレの展示と、し尿搬出訓練を行います。

最後に、中央トラックの南側をご覧ください。こちらには本部テントを設置し、災害対策本部員及び来賓関係の席とさせていただきます。

次に、資料5「体育館内配置図（案）」をご覧ください。

体育館内では、地域の方々を主体とした避難所設営訓練を行います。また、避難所設営訓練と連携し、EV給電車による体育館への電力供給訓練、衛星通信機器であるスターリンクを使用したw i - f i 接続訓練、避難所への応急的な電力供給として配備している蓄電池の展示を予定しております。そのほか、り災証明発行訓練、耐震に関する住まい相談、防災用品の展示、災害時一人も見逃さないためのマップ掲示も行う予定でございます。

また、主に生徒の方を対象に、防災授業の一環として、要配慮者の接し方体験を行う予定でございます。

なお、体育館入口付近には給水所を設けて、皆様よりご提供いただくペットボトル等の飲料水の配布を予定しております。

最後に資料6「小平市総合防災訓練実施年表」をご覧ください。

昭和47年度の第1回目から昨年度までの訓練実施の経過を示した資料となります。

以上で、議案第1号、「令和6年度小平市総合防災訓練の実施について」の説明を終わります。

#### 【会長（市長）】

以上で事務局の説明は終わりました。

ただいま提案いたしました議案第1号につきまして、質疑をお受けいたします。

なお、御質問には事務局が答えます。何かございますか。

それでは、当議題につきまして、承認とさせていただきますがよろしいでしょうか。

それでは、当議題につきまして、承認されました。

議案は以上でございます。それでは、事務局に司会をお返しいたします。

#### 【司会（防災危機管理課長）】

ありがとうございました。

続きまして、次第5「報告」でございます。

はじめに事務局から、小平市地域防災計画（令和7年修正）について説明させていただきます。

#### 【事務局（計画調整担当係長）】

防災危機管理課の小林と申します。よろしくお願いいたします。

大変恐縮ではございますが、着座にて説明させていただきます。

それでは、「小平市地域防災計画（令和7年修正）について」報告させていただきます。お手元の資料7に沿って説明いたします。

1の「計画修正の背景」でございます。

東京都防災会議は、令和4年5月に首都直下地震等による東京の被害想定を公表し、10年ぶりに被害想定の見直しを実施するとともに、新たな被害想定から明らかになっ

た震災リスクから、都民のくらしと命を守るため、令和5年に東京都地域防災計画（震災編）の修正を実施いたしました。

これらのことから、東京都地域防災計画などの各種計画等との整合を図りつつ、近年の法律改正等を反映し、切迫性が指摘される首都直下地震等への備えと、災害発生時に市民の生命、身体及び財産を守り被害を最小限にする、より実効性のある地域防災計画にするため、令和5年度より修正を開始いたしました。

2の「計画の位置づけ」でございます。

本計画は、災害対策基本法第42条に基づき修正を行うものでございます。修正に当たりましては、「小平市第四次長期総合計画」や他の関連する個別計画ほか、国や東京都の関連する計画等との整合にも留意してまいります。

3の「計画対象期間」でございます。

対象の期間は公表の日からとし、毎年検討を加え、必要と認めるときに修正していくものといたします。

4の「修正案作成の経緯」でございます。

(1)の「防災会議」でございますが、災害対策基本法第42条に基づき、小平市防災会議において、本計画の検討及び決定をいたします。

(2)の「市民からの意見・要望の収集」でございますが、本計画の策定に当たり、令和5年度に地域懇談会を計4回実施いたしました。

地域懇談会は、テーマを「避難所運営、自助・共助の視点からの防災対策等」及び「女性の視点からの防災対策」の2つを設定しました。各回において、地域防災計画の修正概要の説明を実施したあと、各テーマについて説明を行いました。延べ、66人の方々にご参加いただき、在宅避難のための備えや普段からの近所付き合いの重要性、避難所運営マニュアルに関する事など、ご意見をいただきました。

また、外国人の災害に関する知識や防災対策の現状、課題等を把握するため、9人の外国人に対しインタビューを実施いたしました。インタビューでは、防災に関する情報収集の方法や、備蓄方法等の周知について意見がございました。

災害時協力協定を締結している市内企業との意見交換では、合同訓練の実施や、情報提供内容の充実、具体的な協定内容への見直しなどについて意見がございました。

(3)の「庁内体制」でございますが、庁内の防災体制について検討を行うため、横断的な検討体制を確保いたしました。連絡調整会議につきましては、総務部危機管理担当部長を会長とし、小平市災害対策本部条例施行規則第6条第2項に規定する災対各部の班長31人を委員として構成し、検討を行ってまいりました。

また、連絡調整会議の下部組織として、総務部防災危機管理課長を部会長とした、「調査研究部会」を設置し、より実務的な研究、分析等を行ってまいりました。

次ページをご覧ください。

5の「修正案の概要」でございます。

小平市地域防災計画（令和7年修正）案は、震災編、風水害編、原子力災害編、火山災害編と、新規に作成する大規模事故編で構成いたします。

今回の修正にあたり、章立ての変更はございません。

最後に、6の「今後の予定」でございます。

8月19日に第3回連絡調整会議を開催し、庁内の防災体制の改善点等を協議して、10月までに計画素案を作成し、防災会議で協議していただいたのち、市民意見公募手続（パブリックコメント）を実施いたします。その後、令和7年1月に第4回連絡調整会議を開催した後、2月の防災会議において、計画案の承認をいただき、3月に公表するよう進めてまいります。

以上で、「小平市地域防災計画（令和7年修正）について」の説明を終了いたします。

最後になりますが、今回の修正のポイント等について、令和5年8月の防災会議におきましても、一度ご説明させていただきましたが、この場で再度、ご説明させていただきます。配付資料はございませんので、口頭のみでご説明いたします。

計画修正の背景にもありますとおり、令和5年に修正された東京都地域防災計画（震災編）や、前回の本計画修正以降発生した法律改正等との整合を図ること、及び庁内の防災体制を見直し、発災時に職員がより迅速に活動・対応ができる体制とすることと考えております。

具体的には、

- ・新たな減災目標の設定
- ・新たな被害想定結果を踏まえた防災対策の検討
- ・自助・共助の観点からの記載を充実
- ・災害対策本部の編成や分掌事務の見直し
- ・市有施設の防災機能の再編成
- ・石神井川の洪水予報河川運用に係る対応

などでございます。

また、大規模事故編を新設するとともに、資料編には、自助の取組の推進につなげるため、発災後の被災者を取り巻く自宅・避難所・ライフライン等の様相を時系列に記載し、被災後のイメージをしやすくするための「震災シナリオ」を作成する予定でございます。

報告は以上でございます。

#### 【司会（防災危機管理課長）】

それでは、各委員から何かございましたらお願いいたします。

今後随意、今年度素案等作成を進めていき、改めて次回の防災会議の中で内容をお示しさせていただきますので、よろしくをお願いいたします。

続きまして、次第6「その他」でございます。各委員の皆様相互の情報共有の場とさせていただきます。

はじめに市側からの情報提供として、秋田危機管理担当部長から、情報提供させていただきます。

**【危機管理担当部長】**

恐縮ではありますが、着座のままご説明をさせていただきます。

昨年度及び本年度に締結した災害協定等につきまして、簡単にご紹介させていただきます。

なお、件数が多いため、締結先と協定等の名称についてのみのご紹介とさせていただきます。

令和5年4月に、公益財団法人小平市文化振興財団と「災害時における一時滞在施設の開設運営に関する協定」を、同年5月に東京電力パワーグリッド株式会社武蔵野支社と「災害時における停電復旧及び啓開作業の相互協力に関する覚書」を、小平市建設業協会と「災害時における被災建築物の支援活動等に関する協定」を、一般社団法人東京都建築士事務所協会北部支部と「災害時における被災建築物の支援活動等に関する協定」を、トーショー交通株式会社、三和交通多摩株式会社小平営業所、美玉交通有限会社、小平好通有限会社及び三幸交通株式会社国分寺営業所とそれぞれ「災害時における輸送に関する協定」を、同年6月に社会福祉法人つくしんぼ共同保育会と「災害時における福祉避難所の設置運営に関する協定」を、同年7月に西武バス株式会社と「災害時における輸送に関する協定」を締結しております。

同じく7月に「無人航空機（ドローン）を活用した包括連携」を3件締結しており、1件目として、小平警察署、小平消防署、朝日航洋株式会社、信和測量株式会社多摩支社と、2件目として、小平警察署、小平消防署、株式会社ミライト・ワン、西武建設株式会社と、3件目として、小平警察署、小平消防署、KDDIスマートドローン株式会社と締結しております。

また、同年8月に株式会社新東京自動車教習所と「災害時における輸送及び施設等の利用に関する協定」を、同年11月に株式会社ハートフルケアと「災害時における要配慮者への支援に関する協定」を、医療法人徳寿会と「災害時における福祉避難所の設置運営に関する協定」をそれぞれ締結いたしました。

令和5年度の協定の締結については、以上となります。

続いて、本年度の協定の締結状況ですが、令和6年4月に、東京消防庁小平消防署と「災害時における罹災証明書発行に関する協定書」を締結いたしました。

本年度の協定の締結状況は、以上となります。

引き続き、各事業所様等と協力し、災害対策を推進してまいりますので、よろしくお願い申し上げます。以上でございます。

**【司会（防災危機管理課長）】**

続きまして、NTT東日本東京武蔵野支店様より、情報提供を御願いたします。

**【NTT東日本東京武蔵野支店長】**

日頃より、情報通信産業へのご協力、ご理解を賜りまして、誠にありがとうございます。着座にて失礼いたします。

お配りした資料に従いまして、弊社での災害対策に関する取組について、情報提供をさせていただければと思います。

冒頭市長からもありましたとおり、能登で発生した震災から丸7か月経っております。まだ復旧の最中だと認識しており、被災地域の復興に向けて、各機関様と連携して情報通信の方での取組を進めさせていただいております。

特に震災直後でございますが、通話が途絶するという事象が発生しましたので、171、web171等の利用をオープンにするとともに、公衆電話の無料化、料金減免等の対応、各通信キャリア様と協力したwifiサービスの開放をさせていただきました。

また、停電に伴う電力会社様の復旧作業と合わせて、私共の商用電源への移行を進めていきましたが、電源が無い段階では、大きな発電能力を備えた移動電源車を首都圏からも集め、翌2日以降に商用電源のエネルギーが枯渇した時に、移動電源車から電力を供給することで通信を止めないという取組をさせていただきました。

その他、資料中にNTTの取組とございますが、表中上から4つ目の家屋被害についてご説明させていただきます。

今回、石川県の能登半島においても大きな被害が発生し、それに伴うり災証明書の発行、この点につきまして、当該被災地域自治体様は家屋被害の調査もしなければいけなく、小平市様も職員の方を派遣されたと伺っています。私共NTTも、少しでも早く発行できるようにということで、ドローンを飛ばさせていただきました。

ドローンを活用したのは、2011年の東日本大震災、こちらで広域の被害が出たときに、まだドローンが使えておらず、被害の把握に非常に時間がかかったという教訓を活かして、2012年よりドローンを広域点検及び事前災害時の調査に活用させていただいております。

こちらを飛ばすことによって、現地に赴いての写真撮影や、り災証明書の発行に必要な被害判定を、ドローンが撮影した映像をもとに遠隔で行えることから、一刻も早くり災証明書の発行ができるよう、石川県様それから内閣府様からの相談もあり、リエゾンの派遣を行っております。

自然災害は避けて通れないところもあり、今まで数々の自然災害を経験する中での教訓を資料にいくつか載せています。それぞれ起こっては欲しくはないことですが、首都圏で災害が発生した場合にしっかりと対応できるようにする必要があります。

また、右下のほうにweb113をご案内させていただきます。

こちら、梅雨が明けて、連日かなり風が舞うような集中的な豪雨が続く中で、樹木が倒れ、それに伴い電柱の倒壊等が発生しており、この2週間ほど故障件数が多くなってございます。

特に落雷があった際に、電気を通して通信機器が一時的に使えなくなった場合、113に問合せが集中しますと、どうしても対応できなくなるという場合がございます。そういう時にこのweb113を検索いただくと、そこで問診をしたり、実際に点検を依頼できるチケット手配というものが人手を介さずにできたりしますので、この会議の

場を頂戴しましてご案内させていただきました。

当事業所からの情報提供につきましては以上となります。

**【司会（防災危機管理課長）】**

ありがとうございました。

その他、各委員から何か情報提供はございませんでしょうか。

特に無いようですので、事務局から1点ご連絡をさせていただきます。

今後の防災会議の日程についてでございます

防災会議につきましては、例年、総合防災訓練の時期に合わせて年1回、実施させていただいているところでございますが、報告にありました、令和7年の地域防災計画の修正に向けて、今年度につきましては、あと2回、実施を予定しております。

日程といたしましては、10月29日（火曜日）と年明けの2月19日（水曜日）を予定しています。

委員の皆様へのご案内につきましては、改めて送付させていただきますので、よろしくお願いたします。

事務局からの連絡は以上となります。

それでは、以上をもちまして、令和6年度第1回小平市防災会議を終了させていただきます。

本日は、大変ありがとうございました。